

家庭で できる学力アッププロジェクト

令和5（2023）年4月
栃木県教育委員会

県教育委員会では、小学校4・5年生、中学校2年生を対象に、「とちぎっ子学習状況調査」（教科に関する調査と質問紙調査）を実施しています。ここでは、これまでの調査結果の分析から分かってきたことを基に、保護者の皆様に参考にしていただきたい働きかけの例を紹介します。

子供のよさをほめ、自信をもたせていますか？



これまでの調査結果から、家の人は、ほめてもらいたいことをほめてくれると思っている子供ほど、自分にはよいところがあると感じている傾向にあることが分かってきました。



ほめる際は、結果だけを見るのではなく、努力の過程を認めるなど、**自信をもたせる**ようにしましょう。その際は、**子供がどのようなことをほめてもらいたいのか**を考えることも大切です。

自信や意欲をもたせるための言葉

（例）

- そう、そのやり方だよ
- うまく進んでいるね
- ずいぶんよく分かってきているね
- あなたならやれると分かっていたよ



リーフレット
説明動画



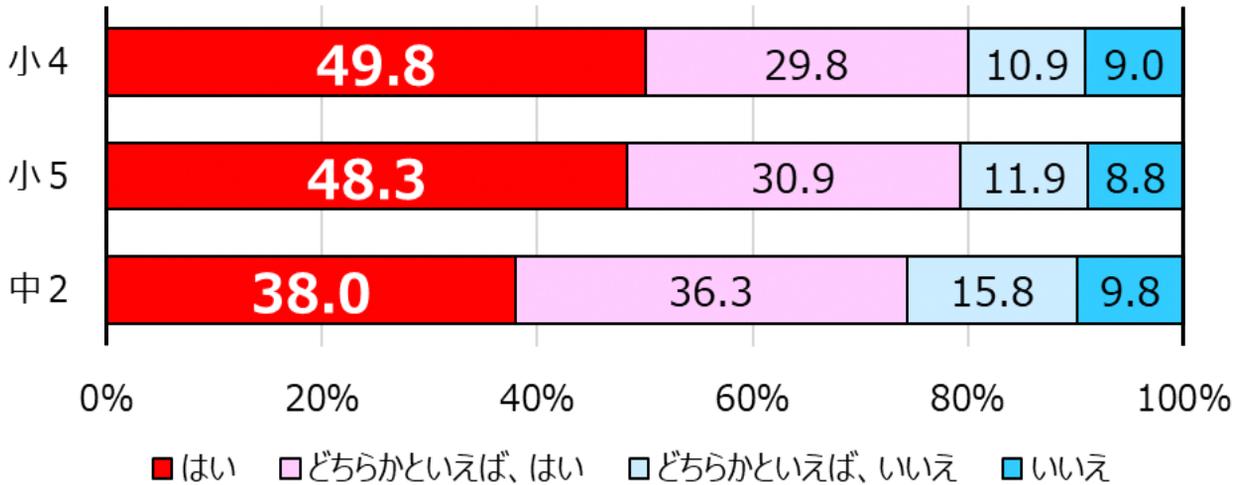
親学習プログラム
アレンジ版

本リーフレット内容の詳しい説明や「親学習プログラムアレンジ版」は、上の二次元コードを読み取ると御覧いただけます。

県教育委員会生涯学習課発行「親学習プログラムアレンジ版」を基に作成

質問：自分には、よいところがあると思う

○ 質問に対する回答結果

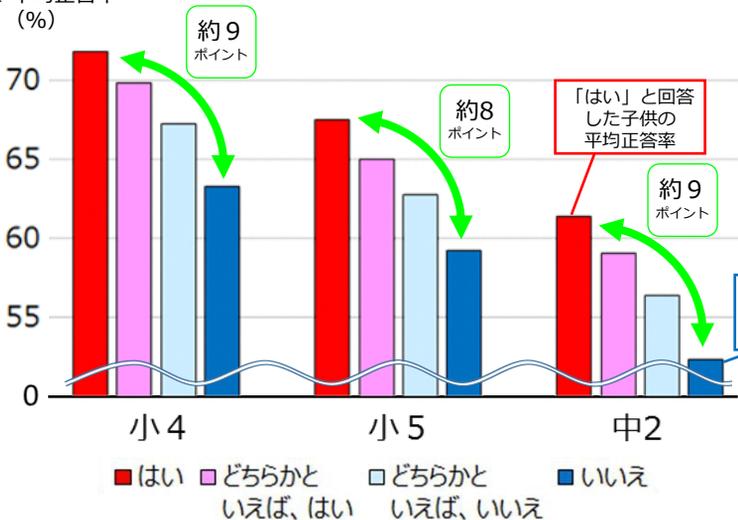


上記の質問に対して、「はい」と回答している子供は、どの学年も40%前後であることが分かります。
子供が自分のよさに気付き、自信をもつことができるような働きかけをしていくことが大切です。



○ 質問に対する回答結果と平均正答率との関係

※ 平均正答率 (%)



どの学年でも、上記の質問に対して「はい」「どちらかといえば、はい」と回答している子供ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。



※ 平均正答率：小4、小5は国語・算数・理科の3教科、中2は国語・社会・数学・理科・英語の5教科の正答率の平均

質問紙調査には、本リーフレットで取り上げた質問以外にも、学ぶ意欲や学校での様子、家庭学習に関する質問項目などがあります。

お子様と学習について話し合う際に、教科に関する調査結果と併せて、質問紙調査の結果も参考にしてみてください。